

自動車リサイクル促進センター 「おおさかATCグリーンエコプラザ」に 自動車リサイクルの常設展示ブースを初開設

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村^{なかむら} 崇^{たかし} 以下、「JARC」)は、2019年1月18日(金)、自動車リサイクルに関する情報発信の拠点としての常設展示ブースを、おおさかATCグリーンエコプラザ(大阪市住之江区)に開設いたしました。

*おおさかATCグリーンエコプラザとは : <http://www.ecoplaza.gr.jp/>

JARCは、資源の有効利用の向上と環境保全に貢献するため、自動車リサイクルや適正処理に関わる事業を展開するなかで、北は北海道から南は沖縄まで全国各地域で開催される環境イベントにキャラバンしながら出展し理解活動に取り組んでいます。そして、この度、西日本地域で自動車リサイクルに関する情報を継続して発信していく拠点として、おおさかATCグリーンエコプラザのご協力を受け、初めて大阪市に常設展示ブースを開設するにいたしました。

展示ブースでは、循環型社会に向けた自動車リサイクル関係者の取組や成果をパネルで紹介すると共に、学校教育の場で自動車リサイクルを学んだ小学生が自動車リサイクルについて伝えたいメッセージをポスターや標語にした作品を展示し、子どもから大人まで幅広く楽しめる場を用意しました。今後、循環型社会に向けた自動車リサイクルの取組をわかり易く発信していきますので、是非、JARCの展示ブースをご活用ください。

<常設展示ブースの開設式典の様子>



➤ **自動車リサイクルシステムの概要**

国内では年間約 330 万台(2017 年度)の使用済自動車が発生し、2005 年 1 月に発足した自動車リサイクルシステムのもと、自動車メーカーや関連事業者などの自動車リサイクルの関係者が適正なりサイクルの取組を進めた結果、使用済自動車のほとんどがリサイクル。

クルマはこうやってリサイクルされるんです

ユーザーはクルマを買うときリサイクル料金を支払います。

ながーく大切に買った愛車もいつかは使わなくなります。

ユーザーが使わなくなったクルマを引取業者に引き渡します。

クルマのほとんどがリサイクル!

金属を原材料に戻してリサイクルします。残ったプラスチックやゴムなども原材料に戻したり熱源として再利用します。

クルマのボディをシュレッダー機で破砕します。

使える部品を取り外して中古部品として使います。

フロン類を抜き取って破壊します。エアバッグ類を安全に取り外します。

リサイクル料金を使って処理する 3 物品について

(ユーザーが支払ったリサイクル料金で特別に管理する物品)

シュレッダーダスト

クルマから有用な部品や金属資源などを回収した後のクズ(プラスチックやゴムなど)をシュレッダーダストといいます。シュレッダーダストを更に原材料に戻したり、熱源として再利用します。

フロン類

カーエアコンに使用されるフロン類は、オゾン層破壊や地球温暖化など環境によくない影響があるので大気放出を防ぐ必要があります。フロン類を回収した後、高熱で燃やして無害化します。

エアバッグ類

エアバッグ類には爆発性のあるガス発生剤が使われているので、クルマのリサイクルでは安全性を確保する必要があります。エアバッグ類を回収した後、金属部分を原材料に戻してリサイクルします。

➤ **公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)とは**

自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上及び環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階	
設立	: 2000 年(平成 12 年)11 月 22 日	
理事長	なかむら たかし : 中村 崇	
自動車リサイクル法指定法人業務の主務官庁	: 経済産業省、環境省	
URL	https://www.jarc.or.jp/	

➤ **自動車リサイクルシステム全般のお問い合わせ先**

自動車リサイクルシステム コンタクトセンター

☎ 050-3786-7755 平日 9:00~18:00(土日祝日・年末年始を除く)

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
 広報・理解活動推進部
 電話 : 03-5733-7144